

死亡事故ゼロの更新を願って 交通安全キャンペーンを実施

12月7日、北西方三本松の国道221号線で交通安全キャンペーンが行われました。交通安全協会小林支部(内一幸支部長)の会員や警察署員など30名が参加。反射材が付いた交通安全グッズを自動車のドライバーに配布して飲酒運転根絶など交通安全を呼びかけました。



内支部長は「小林市は11月に交通死亡事故ゼロ240日を達成している。記録を更新できるよう啓発に努めたい」と話していました。

行政提案から市民提案へ 行政改革市民会議を開催

12月14日、第1回小林市行政改革市民会議が開催されました。広く市民の意見を求め、市民とともに着実な行政改革の推進を図ることを目的に設置。学識経験者や公募による市民など15人の委員に委嘱状を交付し、会長に民生委員・児童委員を務める種子田與市さんを選出しました。



委員の任期は2年。それぞれの立場や経験などからの意見や提言を行政改革へ反映し、市民のための行政運営を図っていきます。



駅サイティング市は、平日は7時から19時、休日は9時から17時まで。朝の通勤、通学の時間帯には駅舎でパンなどの販売もしています。

地場産品がずらり。 駅サイティング市、開催中

「がんばろう宮崎！駅サイティング市」がJR小林駅にオープンしています。県内7駅に、3月31日まで設置される予定で、地場の野菜や雑貨、加工品などを販売。店長の永久井翔太さんは「残りの期間、小林に賑わいが出るよう少しでも貢献したい」と意気込みを語りました。(毎週火曜定休)



吉谷さん【写真中央右】が寄贈された絵は、100号という大作。1つは市長室前、2つは市立病院に展示しています。

小林市出身の吉谷房子さんが 復興と発展を願って絵画を寄贈

12月6日、小林市東方出身の吉谷(旧姓:上原)房子さんが市に絵画3点を寄贈しました。絵画は宮日会館で個展を開催したときに出品したもの。現在、埼玉県に住む吉谷さんは「小林市が私生まれ育った大切な場所。口蹄疫からの復興と発展を願っています」と優しく話していました。



▲「二十歳の誓い」を読み上げる石川雄太さん(野尻会場)【写真左】と、指宿和也さん、永田智子さん(小林会場)【写真右】。



晴れ着に彩られた新成人 611人が大人への決意

1月5日、小林市成人式が野尻町農村環境改善センターと小林市文化会館で行われました。新成人対象者611人のうち478人が式典に参加。友人との久しぶりの再会に会話を弾ませるとともに、成人としての責任と自覚を新たにしました。

野尻会場では、恩師からのお祝いの言葉のほか、中学校在校生からのビデオ

メッセージなどが届けられ、新成人の門出を祝いました。

小林会場では、小林中と小林秀峰高校の新体操部による華麗なアトラクションで開幕。実行委員会作成のビデオメッセージが流され、小林市出身の斉藤慶子さんや、小林西高を卒業しているEXILEのメンバーKEIJIさん、懐かしい恩師が次々に登場し、お祝いのメッセージが上映されると、会場に歓声があがりました。